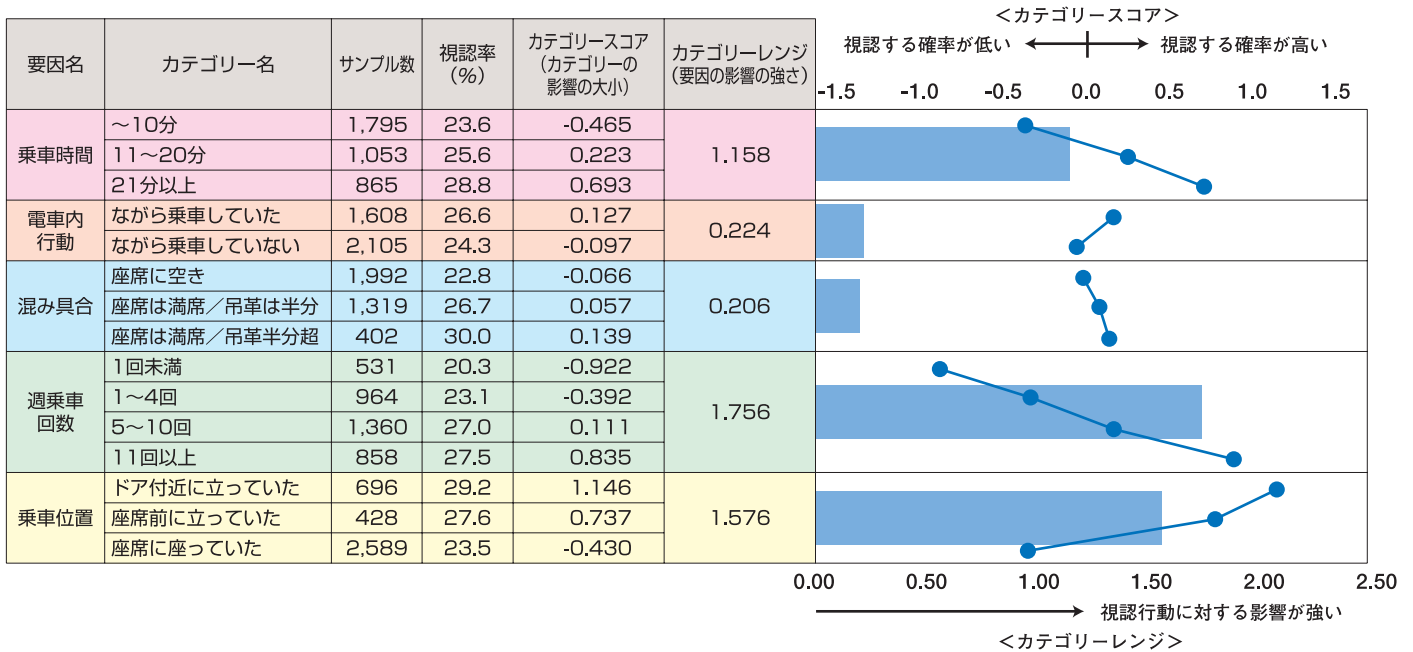
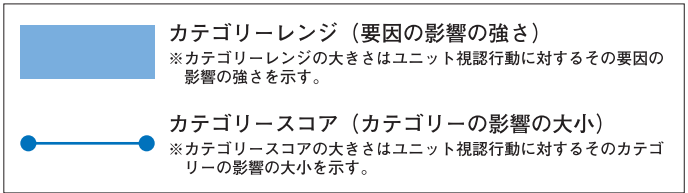


# ドアツインステッカー

## ユニット視認行動の要因分析の結果

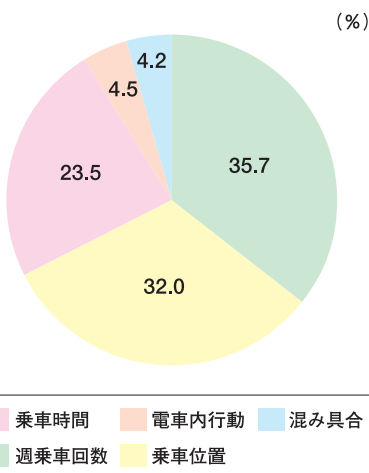
- ドアツインステッカーは「週乗車回数」「乗車位置」が強い要因になっている。「週乗車回数」については週乗車回数が多いほど視認率が高まり、「乗車位置」ではドア付近や座席前に立っていた乗客の視認率が高い。
- 一方、ドアツインステッカーは「混み具合」「電車内行動」にはあまり影響を受けない。



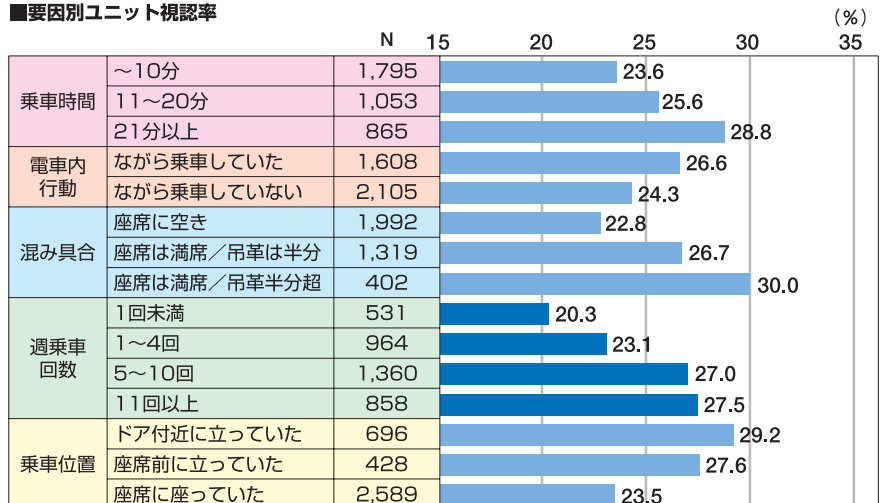
## ユニット視認行動に与える各要因の影響度と視認率

- ドアツインステッカーの各カテゴリーレンジの大きさを相対的にみると、「週乗車回数」が最も強い要因で、次に「乗車位置」「乗車時間」となっており、この3大要因の影響が強い。
- また、要因別ユニット視認率をみると、
  - ・「週乗車回数」については、「1回未満」(20.3%)に比べて、「5～10回」(27.0%)「11回以上」(27.5%)は視認率が7ポイント程度高まり、週乗車回数が多いほど視認率が高くなる傾向がみられる。
  - ・「乗車位置」については、「座席に座っていた」(23.5%)に比べて、「座席前に立っていた」(27.6%)「ドア付近に立っていた」(29.2%)は視認率が4～6ポイント程度高まり、ドア付近に立っていた乗客の視認率が高い。

■ ユニット視認行動に与える各要因の影響度



■ 要因別ユニット視認率



\* ユニット視認行動に与える各要因の影響度 (%) = 各要因のカテゴリーレンジ / 各要因のカテゴリーレンジの合計 × 100

\* 集計に際しては、04年調査、06年調査のサンプルを合わせて集計した。